

圓だより

第 52 号

巻頭言

あたりまえの生活とは

指導員 米谷 健太

一人暮らしになると何かと忙しくて忘れがちになってしまうのが寝具の衛生です。圓では一ヶ月に一度は布団を干すように指導しています。最初はメンドクサイと言いつつ行っていた児童も、習慣になるとあまり文句を言わずに布団を干すことができるようになってきました。ここまでできるようになるのは容易ではありませんでした。入所当初は真夏になっても毛布を使用していたり、シーツが外れることを知らなかったり、布団を干す意味が分からないと文句を言ってきたりと様々な状況でした。



近頃では布団専用クリーナー・除菌消臭剤などが普及され、天候の良い日に布団を干す光景があまり見受けられなくなったように感じます。今までも何度も検討してきましたが、お日様に暖められたふかふかのお布団に寝た時の気持ちよさが、お母さんに抱かれたなんとも言えない感覚にも似ていると感じる職員も多く、布団は干すことにしています。

何があたり前の生活なのか、職員も頭を悩ますことが多いのが現状です。そんな中、検討を繰り返し、まずは何気ない生活の一コマを丁寧に、細やかさを大切に、語れる心地よい環境を保障することを心がけ、生活を共にする職員が何を大事に思っているか「生活のモデル」として伝えていきたいと考えています。

入居者達の様子

・15歳男児・・・朝仕事に行き、夕方から学校に登校する生活なので、しんどいとこぼす時もあります。以前であれば体調を崩して休むこともありましたが、現在は休むことなく

出勤・登校できています。その背景として考えられるのが入所当時からの目標である高校を卒業する、調理師の免許を取得するという大きな目標を持ち続けていることだと思います。また勤務先の方々・学校の先生が本児のこと、圓のことを理解し協力していただいていることが大きい要素だと感じ、本当に感謝するばかりです。周りの沢山の人が見守り助けてくれていることを、少しずつではありますが本児にも伝えていっています。それに答えるように本児も本児なりに頑張っています。

もうすぐ学年末テストになるので頑張りたいと思います。携帯電話の手続きも順調に行えていますので、念願の携帯電話所持までもう少しです。

3 月の目標・・圓の生活ルールを守る。

学校での勉強を頑張る。

・16 歳男児・・・仕事量も増えてきましたが、愚痴をこぼすことなく毎日休まず出勤しています。休みの日も以前よりは外出して気分転換をしています。しかし趣味が無いとよくぼやきます。本人は色々試してみるけどなかなかこれと言う趣味が無いと話しています。焦らず趣味を見つけて心身ともにリフレッシュしてもらいたいと思います。圓でも自分の新たな一面を発見してもらえよう色々なことが体験できる職員・児童の参加型の行事を考えていきたいと思っています。

3 月の目標・・仕事を頑張る。

身の回りの整理整頓。暖かくなってくるので換気を積極的に行う。

16 歳男児・・・1 月から怪我の為施設で療養中でしたが、2 月の下旬から仕事に復帰しました。まだ以前と同じような作業は無理ですが、座ってできる仕事を会社が用意してくれました。

また療養中に原動機付自転車の免許習得に向けて勉強をし、自動車学校での講習手続きも行い本人もやる気モード全開です。

2 月の目標であった整理整頓も職員と一緒に衣類の整理を行い、かなりスッキリする事ができました。布団を干す事も習慣になってきているので、このまま継続してもらいたいと思います。

3 月の目標・・安全に努めて仕事に取り組む。

原付免許を習得する。

豆まき



2 月 3 日と言えば節分です。圓でも豆まきをしました。最初は豆まきに乗り気ではないようでしたが、鬼のお面をみせると、「ちょっと待って」と 1 人の児童が部屋に入って行きました。何をしに行ったのかと思っていたら、お面をかぶりおもちゃの棒を持って「鬼らしくなったやろ？」とやる気満々で部屋から戻ってきました。

豆をまくときも遠くまでとばしたらいいんやろ？と言いつきり投げようとする児童もいました。さすがに近所迷惑になるのでやめるように指導しました。

「来年はもう少し鬼らしくするか」とすでに来年を考えている児童もいました。来年の事を言えば鬼が笑うといいますが、児童が主体的になり行事を盛り上げてくれることはうれしく思います。意外にも最後までノリノリで行ってくれたことをうれしく思いました。



豆まきが終わって豆を食べる時に、「歳の数だけ食べるのか、小さい時には早く大人になって食べたいと思ったけど、歳をとる度に欲しく無くなるわ」と児童が話します。まだ皆 10 代なんですけどね。来年は頑張っって一緒に恵方巻きに挑戦できればと思います。

防災見直し



毎月防火訓練等を職員と児童で行っています。

また具体的に整備出来ていなかった消防計画等を作成しました。それに沿って今までの防災の見直しを進めています。

まず備品・備蓄を確認し賞味期限が近くなっているものについては、食事に使用しまし

た。今回は長期に保存できる食品ばかりでなく、賞味期限に気を付けるという条件で安価でおいしい日常のレトルトの食品も取り入れることにしました。事務所にあるカレンダーに賞味期限を記入し、期限が近づく防火訓練で実際に調理しボリューム・味等についても確認していこうと考えています。

高校生交流会

香川県では児童福祉施設連合会を立ち上げています。香川県のあらゆる児童施設が集まり子どもの最善の利益を守る為に研修会及び情報交換を定期的に行っています。

その中で各施設の高校生が自立に向けて不安なことや知りたいことを語りあい、学びあいを通して自立に向けた準備を深める意見交換を目的とする高校生交流会を考えています。

圓の児童にとっても年齢が近く同じ不安や悩みを持つ仲間と語り、色々な経験することによって少しでも自立することへのプラスになればと願っています。たくさんの仲間・経験ができることは子ども達の財産の一つだと思います。今後も様々な環境を提供していきたいと思っています。

農 園

「ポテッとポテトを作ってみたよ！」

今月は畑でたくさん収穫がありました。中でもジャガイモは圓の子どもと一緒にたくましく成長しています。写真は収穫したジャガイモでポテトチップス（以下：ポテト）を作っている様子です。

「調理の仕方が分からない」と言いながらも、ポテトはどの児童も大好きです。ポテトはお店で購入するもどだと思っていた児童にとっては、自分で簡単に作れることに驚き、興



味津々で、すぐに職員に作り方を教えてと駆け寄りました。ジャガイモをスライスして油で揚げるだけの簡単調理で児童も大喜びでした。

お店で購入して食べるより産地直送の新鮮なジャガイモで調理ができ、寒い冬にはありがたいホカホカな自分たちで作ったポテトは尚更おいしかったようです。「時間があれば次回はフライドポテトにも挑戦してみたい。」と話しているそんな声を耳にすると新しい作物に挑戦しようかと気持ちもウキウキ春気分になりました。自立する為に圓の農園は一役買ってくれています。ありがとう。

利用状況 3月1日現在 (定員6名)

	15 歳	15 歳	16 歳
男子	1	1	1
女子	0	0	0
就労	調理	建設	建設
学校	定時		

編集後記:

今年度も後一ヶ月になりました。新しい年度に向けて児童、職員とも体調に気を付けてしっかりと準備していきたいと思えます。(米谷)

ご相談・お問合せ受付

急激な社会変化の中で自立した生活を迫られた青少年の心の拠り所の「家庭」となり社会に適応できるよう生活・就労等の支援をしています。

入居ご希望の方、子育てに関する悩み・不安などをご相談お受けします。まずはお電話にてご連絡ください。秘密は厳守します。



〒761-8053

香川県高松市西ハゼ町 338 番地

TEL (087)813-7720

FAX (087)813-7721

ホームページ <http://4on.or.jp/>

(1月よりHPアドレスが変更になっています。)

メールアドレス

madoka753@sky.plala.or.jp

発行責任者 野田 大燈